



♣受付第06A2772号
受付日：平成18年12月11日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成19年 2月19日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 幸
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717-1
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：ハンディホールダウンF 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：幅40mm，長さ240mm，厚さ4.5mmの鋼板添え板にコの字形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接したもの（図-3参照） 材質：SPHC (JIS G 3131) 表面処理：電気亜鉛めっき及び特殊コーティング 2. 接合具 木ねじ：3#角ビット鍋スクリュー（スプーンカット）φ6.0×60，10本使用 長さ；60mm，ねじ部の長さ；45mm，ねじ部の外径；5.9mm，谷の径；4.45mm，ねじ山のピッチ；2.7mm，ねじ先の形状；とがり先に切り込み 材質；図-3の化学成分を満足する冷間圧造用炭素鋼線材 表面処理；電気亜鉛めっき及び特殊コーティング アンカーボルト：六角ボルトM16×255mm，材質；SS400 (JIS G 3101) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm 4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準引張耐力(P _{ot})：32.6kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6
備考	当該試験結果は，平成12年建設省告示第1460号表三（ぬ）に定める15kN用引き寄せ金物×2枚（必要耐力30.0kN）に該当する。
試験期間	平成18年12月12日
担当者	構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 室 星 啓 和 試験実施者 高 橋 慶 太
試験場所	中央試験所